

部課名		防災安全部防災課												
課の使命		市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、市民の防災意識向上や町田市としての市の危機管理体制の強化に努めることです。												
実行計画(年度目標)														
年度目標設定						中間確認			年度末確認					
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応	
1	全 庁 で 重 取 り 事 組 ま む 施 策 の 推 進	まちだ防災カ レッジの推進 ／シティプロ モーション	・市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、「まちだ防災カレッジ」をより多くの市民に広く知ってもらうとともに、Instagram等のSNSを有効的に活用し効果的な周知に努めます。 ・市民の防災意識向上を目的とした「まちだ防災カレッジ」は、防災教育事業である「まなぶ」と地域の課題解決を目指す「とりくむ」の2つをテーマに事業を実施します。 ・「まなぶ」のコンテンツを充実させ、セミナーや講演会を通して防災に関する基礎知識を発信します。 ・「とりくむ」では、「アウトドア防災」をテーマに、アウトドアのノウハウを活かしたイベント等を開催し、実践的な活動を通して在宅避難に必要な備えを普及啓発します。	①Instagramによる情報発信回数 ②「とりくむ」実施地区数	①48回/年 ②10地区 (2地区/年)									
2	経 営 改 革 プ ラ ン	町田市地域防 災計画の修正	・東日本大震災や熊本地震等の都市型災害のレポートなどを参考に、災害発生後、時間を追って変化する災害事象や市民ニーズの分析を行います。 ・改定にあたっては、町田市防災会議での議論を踏まえながら、市民ニーズと各機関が対応すべき事項を時系列別に示したうえで、やるべき対策を段階ごとに整理した地域防災計画に改定します。 ・2027年度の計画完成に向け、2026年度は素案作成までの工程を完了させます。	町田市地域防災計画の修正	素案作成完了									
3	個 別 計 画	児童・生徒に 対する防災教 育の推進	・市内の小・中・高等学校に対し、2025年度の「防災コンテスト」や起震車体験、授業内での実践事例をまとめた啓発冊子を配布します。 これにより、未実施校でもスムーズに防災教育を実施できるようフォローし、児童・生徒が体験を通して防災について自分ごととして考えることができる機会をつくります。 ・アンケート調査で各学校の取り組み状況を取りまとめ全校に送付することで、防災教育の重要性と実施例を周知し、取り組みの促進を図ります。	防災教育を実施する市内の小学校・中学校・高等学校の校数 ※消防法第8条に基づく訓練は防災教育に含まないものとする。	63校 (6校/年)									
4	個 別 計 画	消防団員確保	・若手団員の確保に向け、消防団の魅力を向上させるとともに、SNS等を活用した情報発信をしていきます。 ・若年層の入団につながるよう、成人式など若年層が集まるイベントなどで積極的なPRを行っていきます。 ・消防団員の更なる負担軽減や事務の効率化を図るため、デジタル化を推進します。 ・退団者アンケートを集計・活用し、団員の活動しやすい環境を作り退団防止につなげます。	新規入団消防団員数	40名									

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	事務 事業 見直し	普及啓発事業 に係る業務の 見直し	・防災講話・防災教育で活用できる共通の素材を 作成することにより、効率的かつ効果的に実施しま す。 ・町田市防災アンバサダー等の活用により、イベン ト等の周知や運営を効率的かつ効果的に行いま す。	協働による防災講話・防 災教育・イベント等の実 施回数	24回								
6	人材 育成	「チャレンジ志 向」	・災害対応力の向上を目的に、防災安全部職員の 災害対応訓練について、汎用性の高い訓練シナリ オを作成し、訓練企画業務の効率化を図ります。 ・震災対応について、過去の大規模地震の事例を 参考に、夜間の発災を対象とした訓練シナリオを作 成し、訓練を実施します。	訓練シナリオの作成・訓 練の実施	地震(夜間)の 訓練シナリオ 作成および訓 練の実施								

部課名		防災安全部市民生活安全課											
課の使命		町田市に関わる全ての人・団体・企業等とともに、防犯・交通安全の意識を高め、活動に携わり、周囲に大切さを伝える好循環を協力してつくりあげることで、将来にわたって安全・安心な暮らしを実感できるつながりの輪を広げていきます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 別業 計 画 ／ 個	協働パトロールの実施及び啓発活動の実施	・警察や地域団体などと定期的に実施している協働パトロールに加え、親子や外国の方、学生などとの協働パトロールを実施します。 ・防犯を意識し、行動できるよう、各種イベント等において防犯啓発を実施します。	①協働パトロール回数 ②防犯啓発人数	①48回 ②11,100人								
2	重点 事業 別業 計 画 ／ 個	交通安全啓発活動の実施	・市民が交通安全に関する意見交換や質問をするミーティングを実施し、そこで得た情報を活用して啓発活動を行います。 ・交通安全意識の向上のため、各種イベント等において交通安全啓発を実施します。	①交通安全ミーティング実施回数 ②交通安全啓発人数	①6回 ②25,000人								
3	個別 計画	住まいの防犯対策補助事業の実施	・「闇バイト強盗」のような侵入盗被害を防止するため、住まいの防犯対策補助事業を実施します。	住まいの防犯対策補助金申請件数	5,000件								
4	事業 事業 見直し	交通安全事業の進め方及び交通安全に係る会議体の見直し	・交通安全対策基本法の改正を受けて、「町田市交通安全推進協議会」と「町田市交通安全行動計画策定及び推進委員会」を統合して、2027年度に新しい町田市交通安全推進協議会を設置します。 ・2027年度からの新体制による運用に向け、関係機関への説明を丁寧に行いながら、必要な手続きを着実に進めます。	新しい交通安全推進協議会の設置要綱の制定	制定								
5	人材 育成	「市民志向」／「チームワーク志向」	・課員が担当業務以外の業務についても、一定の業務実施ができるように、既存の業務マニュアルを活用しながら研修を実施し、チームワークを高めます。	課内研修の実施回数	5回								
6	全庁 で 取り 組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	・町田駅周辺における官民協働パトロールでは、歩行者の多い道路を通行している。パトロール隊の行進や啓発の音が、障がいのある方の通行を妨げてしまうことのないよう、啓発方法や経路の見直しを行います。	啓発方法や経路の見直しの実施	実施								